

イーストスプリング インド投資マンスリー

2025年6月号

インド投資マンスリー
動画配信中！



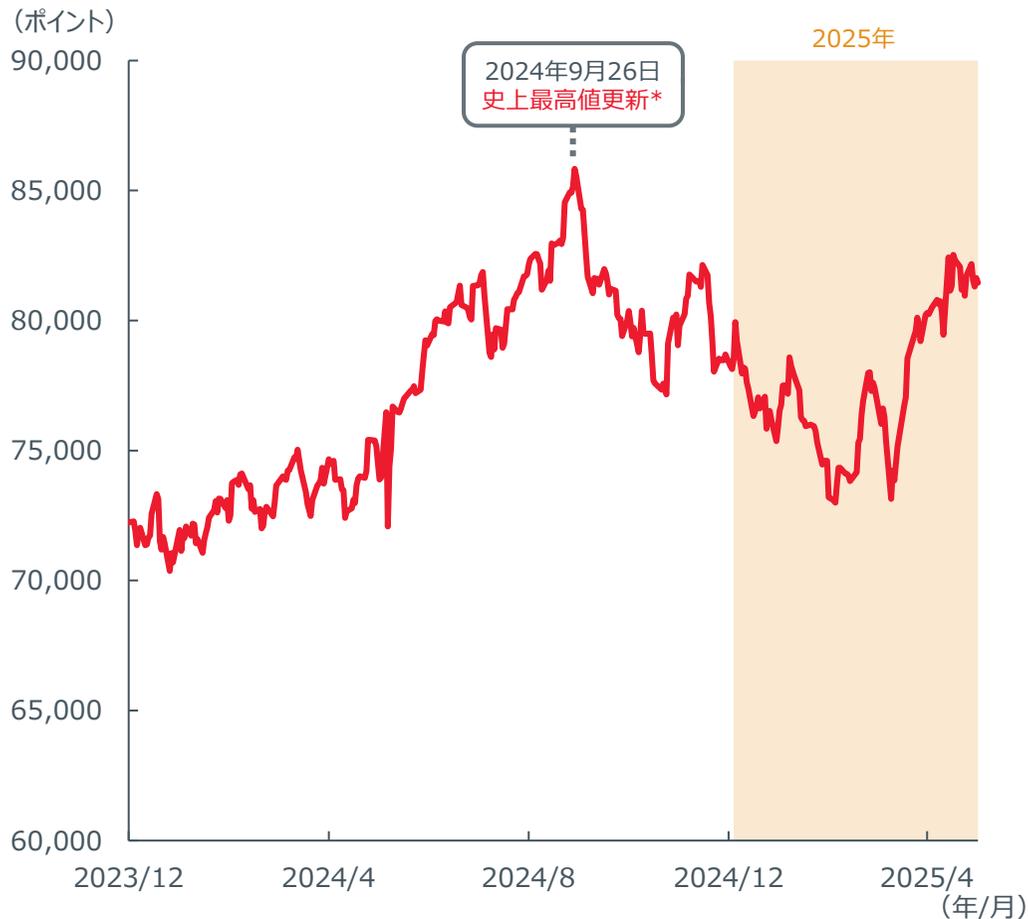
イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号
加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。
最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社である
ブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

株式：リスクオン相場の中、外国投資家の資金流入が加速し上昇

SENSEX指数の推移 (2023年12月末～2025年5月末、日次)



2025年5月の振り返り

5月のインド株式（SENSEX指数）は月間で1.5%上昇しました。また、中型株、小型株はそれぞれ5.3%、10.6%の上昇となり、大型株を上回るパフォーマンスを記録しました。

米国の関税政策に関する懸念の後退を受け、世界的にリスクオンの相場環境の中、外国投資家による大幅な買い越しがインド株式市場の下支えとなりました。月初には、インド・パキスタン間の国境紛争により、一時的にボラティリティが上昇する場面があったものの、10日の停戦合意を受けて市場は安定を取り戻しました。

セクター別では、資本財・サービス、不動産、金属、ITが好調だった一方、公益事業、日用消費財は下落しました。

投資主体別売買動向では、国内外の投資家ともに純流入となり、幅広い資金流入が見られました。

規模別指数の期間別騰落率 (2025年5月末時点)

	1か月間	3か月間	6か月間
大型株 (SENSEX指数)	1.5%	11.3%	2.1%
中型株 (BSE中型株指数)	5.3%	17.0%	-2.0%
小型株 (BSE小型株指数)	10.6%	21.7%	-5.0%

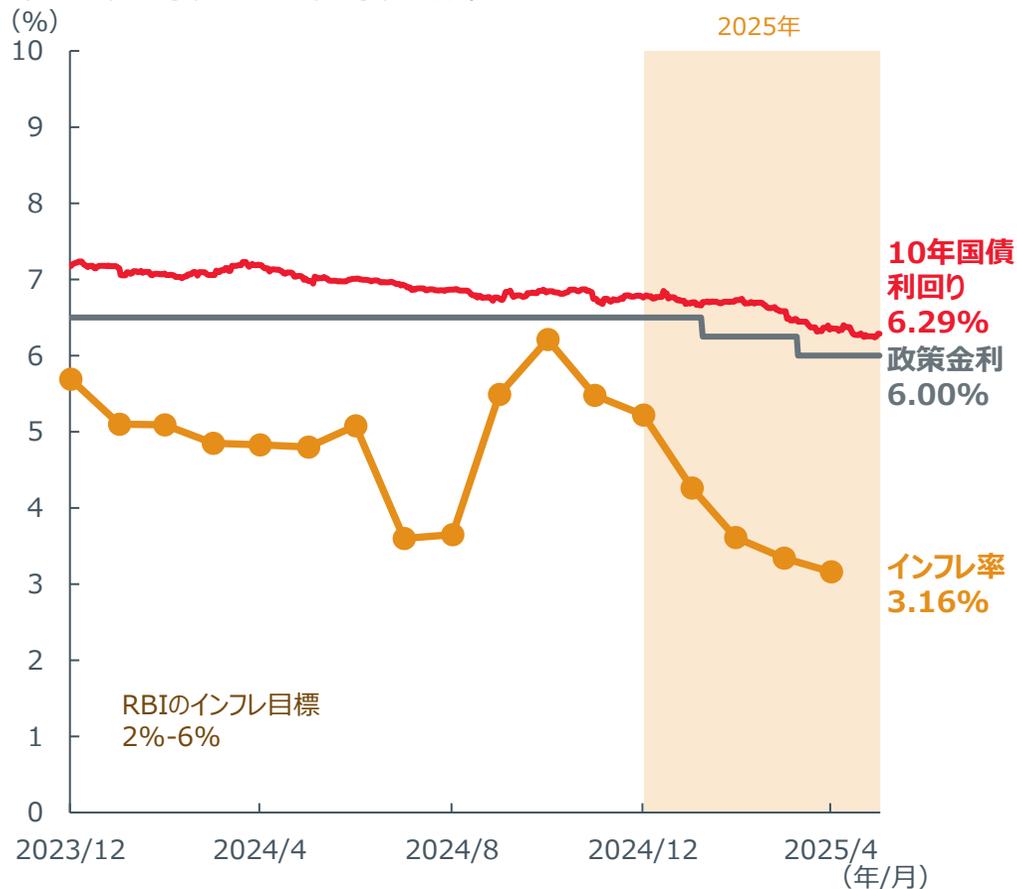
出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
※全てプライス・リターン、インドルピーベース。*終値ベース。

● この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

債券：10年国債利回り、インフレ率ともに低下

政策金利*、インフレ率**、10年国債利回りの推移

(2023年12月末～2025年5月末、日次)



2025年5月の振り返り

5月の10年国債利回りはわずかに低下（価格は上昇）し6.29%で月を終えました。一方、米格付け会社ムーディーズによる米国債の格下げ（Aaa→Aa1）を受けて米10年国債利回りは上昇したことから、米印10年債の利回り差は、過去数年来の低水準にまで縮小しました。

インド準備銀行（RBI、中央銀行）による積極的な流動性供給策により、平均余剰流動性は1.76兆ルピーに達し、さらに過去最高となる2.69兆ルピーの配当金が政府財政の下支えとなりました。

4月のインフレ率は前年同月比+3.16%と、5年9か月ぶりの低水準となりました。特に、野菜価格が同-10.98%と大幅に下落するなど、食品価格の落ち着きが全体のインフレ率を押し下げました。

債券利回りと利回り差の変化幅

	2025年5月末	2025年4月末	変化幅
10年国債利回り	6.29%	6.36%	-0.07%
10年社債利回り***	7.00%	6.99%	0.00%
利回り差	0.71%	0.64%	0.07%

出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

*レポ金利。**消費者物価指数（CPI）上昇率（前年同月比）、同項目のみ月次。新基準（2012年=100）による統計を使用。2025年4月まで。

***10年社債利回りはBloomberg FIMMDA India Corporate Bond Curve AAA 10 Year Corporateの利回りを使用。

利回り差等については四捨五入の関係で数値間で整合しない場合があります。

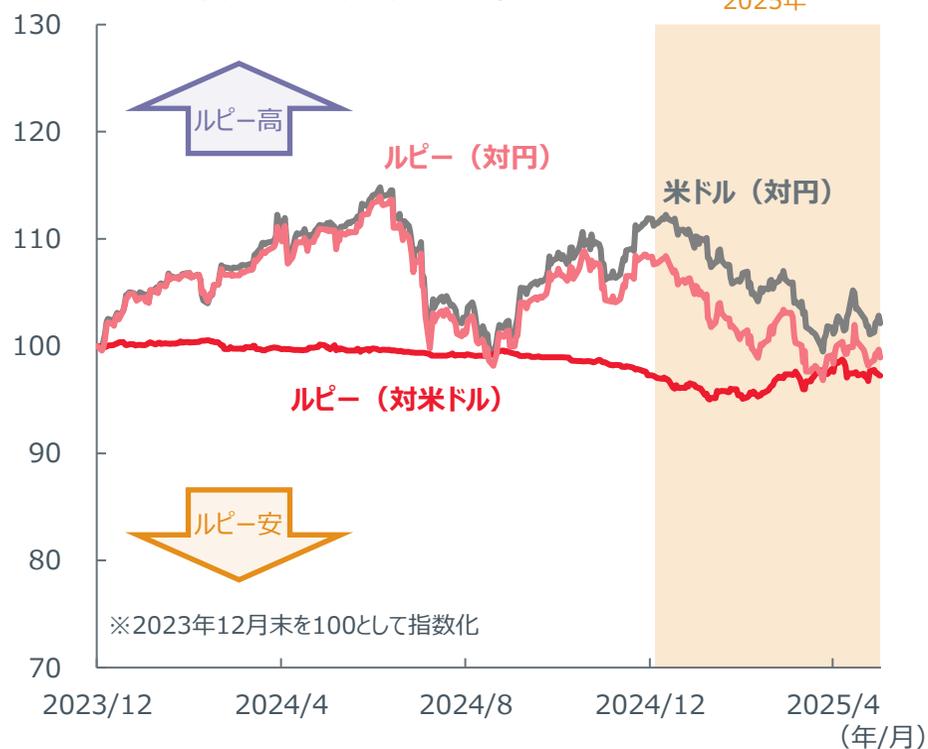
● この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

為替：ルピーは対米ドル、対円ともに下落

- 5月のルピーは、対米ドルで1.3%、対円で0.5%の下落となりました。
- ルピーは対米ドルで安値圏での推移が続いているものの、他の主要新興国通貨と比較し値動きは相対的に安定しています。

ルピー（対米ドル、対円）の推移

(2023年12月末～2025年5月末、日次)



主要新興国通貨（対米ドル）の推移

(2020年12月末～2025年5月末、日次)

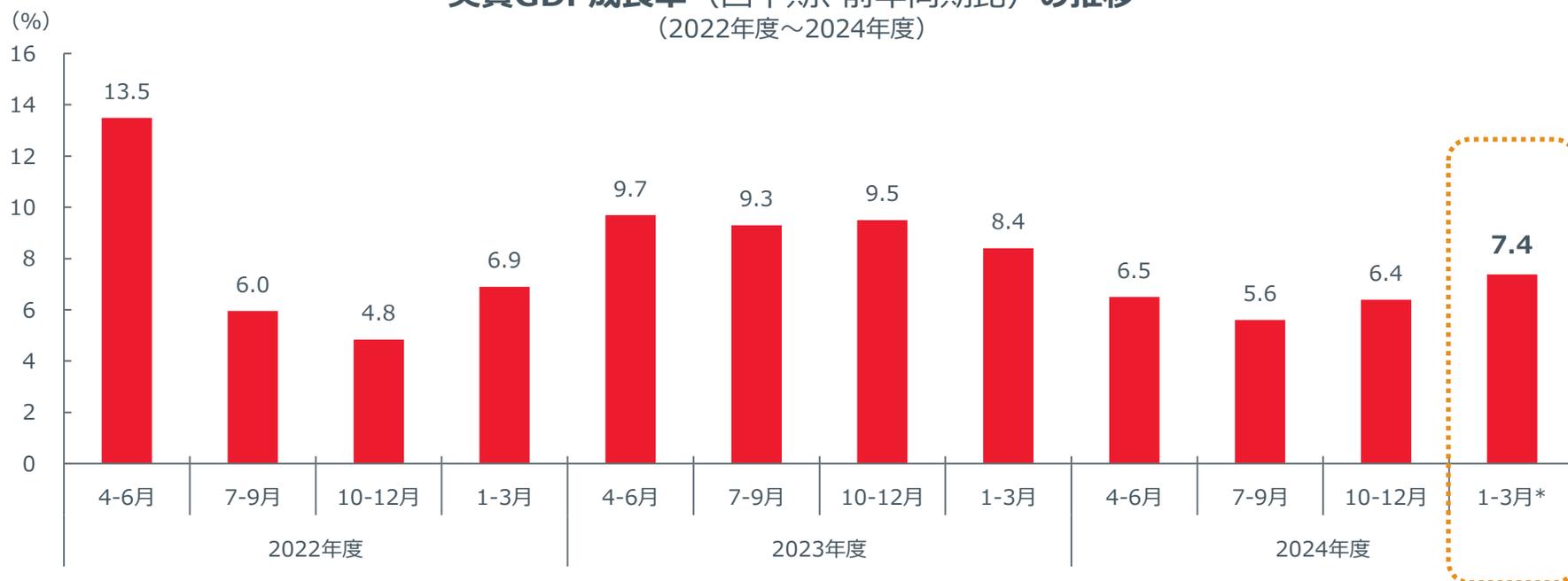


出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

2025年1-3月期の実質GDP成長率、前年同期比+7.4%

- インド政府が5月30日に発表した、**2025年1-3月期の実質GDP（国内総生産）成長率は前年同期比+7.4%**となり、前期の同+6.4%から伸びが加速しました。また、**2024年度（2024年4月～2025年3月）の成長率は前年度比+6.5%**でした。
- 2025年1-3月期を需要項目別にみると、GDPの約6割を占める個人消費は前年同期比+6.0%と堅調に推移、政府支出は同-1.8%とやや抑制傾向にあったものの、総固定資本形成（投資）は同+9.4%と好調でした。また、産業部門別の粗付加価値（GVA）成長率では、建設業は同+10.8%、製造業は同+4.8%と前期から伸びが加速しました。

実質GDP成長率（四半期、前年同期比）の推移
(2022年度～2024年度)



出所：Bloomberg L.P.、インド統計・計画実施省（MOSPI）、各種報道に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。*推計値。

今年のモンスーン期の降雨量は平年を上回ると予想

6月から9月頃にかけての雨季をもたらす季節風を『南西モンスーン』と言います。インド気象局（IMD）は、南西モンスーンが例年（6月1日）より早い5月24日にケララ州で始まったと発表しました。これは2009年に次ぐ早さです。また、5月26日はムンバイにも到達し、1950年以來最も早い記録となりました。

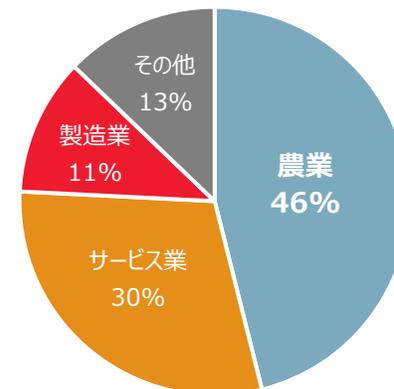
今年のモンスーン期の降雨量は平年を上回ると予想

- ▶ IMDは5月27日に今年の南西モンスーン期（6月～9月）の降雨量予測を更新し、全国的に平年を上回る可能性が高いとの予測を維持しました（長期平均降雨量の106%）。特に6月は全国的に降雨量が平年より多くなると予測されています（同108%以上）。

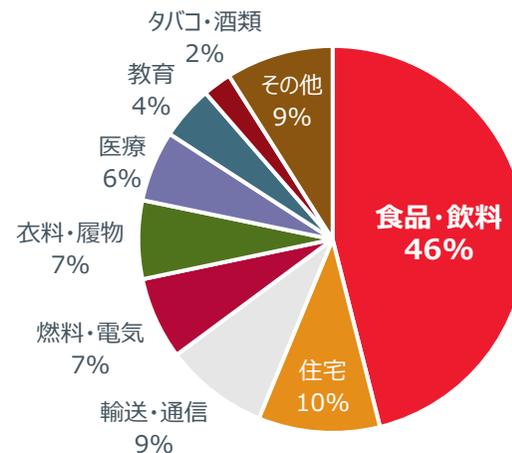
モンスーンによる降雨は農業や経済にも重要

- ▶ インドの農業はモンスーンに大きく依存しています。モンスーン期間中に降る雨は、年間降雨量の約70%を占めるため、米やとうもろこし、大豆、綿花などの作物の生育に欠かせません。十分な降雨があると農産物の収穫量が増加し、農村部の所得が向上するほか、関連する産業やサービス業も活発になるなどインドの経済活動にも好影響を与えます（農業部門は労働人口の約46%を占め、名目GDPの約16%に貢献）。
- ▶ さらに、インドの消費者物価指数（CPI）の50%弱を食料品・飲料が占めるため、農作物の収穫量が増加し食品価格が安定すれば、インフレ抑制にも寄与します。そのため、モンスーン期の降雨量予測は金融市場でも注目されています。

インドの業種別労働人口比率（2023年度）



インドのCPI構成比*



出所：インド気象局（IMD）、インド財務省「Economic Survey 2024-2025」、Bloomberg L.P.、各種報道に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

*2012年基準。

※インドの会計年度は4月から翌年3月まで。例えば、2023年度は2023年4月～2024年3月。

● この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

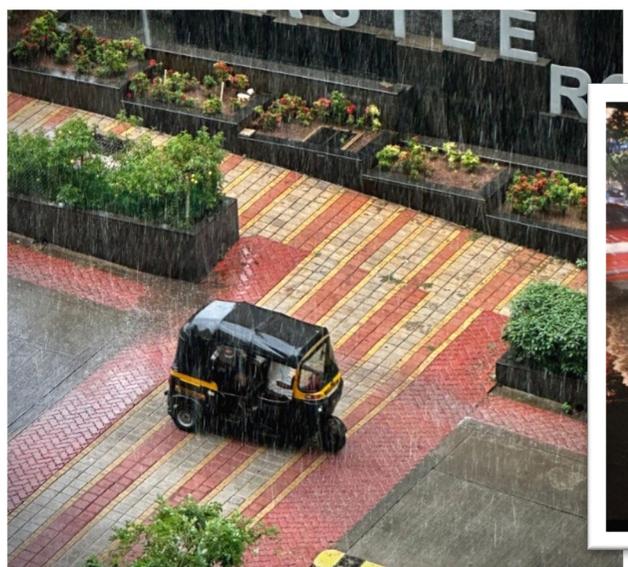
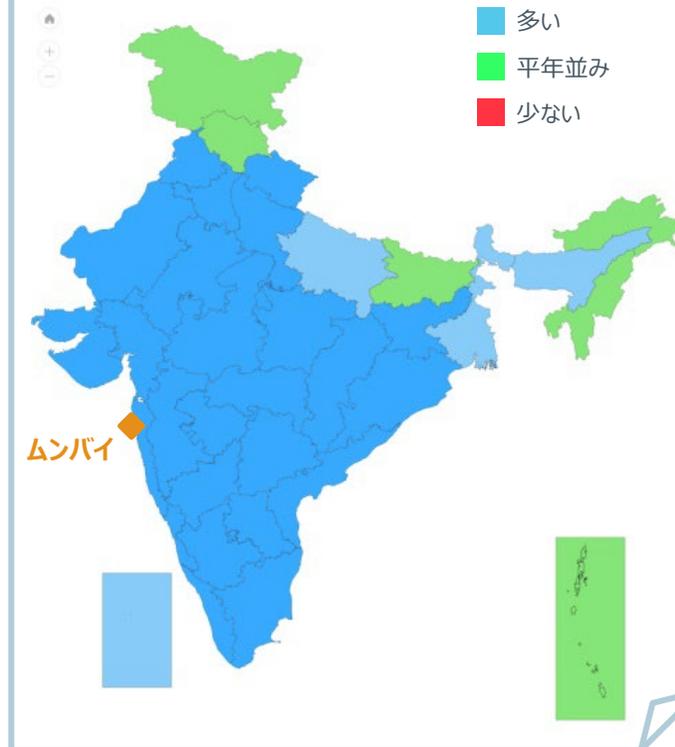
【ご参考】モンスーン期に入ったムンバイの様子



2025年5月：州別の降雨量*

(2025年5月1日~5月31日、累計)

- 非常に多い
- 多い
- 平年並み
- 少ない



出所：インド気象局（IMD）のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。*長期平均降雨量との対比によるデータ。
 写真：ICICIAM社員撮影。

当資料に関してご留意いただきたい事項

- 当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。
- 当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。